

委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成、行数は任意で追加)

委員会名	議会運営委員会
参加委員 ◎委員長、○副委員長	◎齋藤 仁一 ○小島 雄一 渡部 一樹 蛭川 靖弘 菊地 とも子 長澤 勝幸 伊藤 弘明

1 本市の課題と視察の目的

議会運営（改革）に係る取組について、浜田市議会において検討が進められている「議員間の自由討議」、2つの標題行われている「議会報告会（市議会報告会、地域井戸端会議）」を中心として、その他、同市で取り組んでいる事項について、その進捗と状況を視察研修し、本市の議会運営（改革）の参考とするため研修を実施。

2 実施概要

実施日時	視察先	島根県 浜田市
令和元年 10 月 23 日（水） 15 時 02 分～16 時 43 分	担当部局	浜田市議会（議会運営委員会 議会改革調査検討委員会）
視察項目	議員間の自由討議など議会運営（改革）の取組状況について	
報告内容	<p>1 議員間の自由討議について</p> <p>○検討の経緯</p> <p>・平成 23 年 9 月の議会基本条例制定以降の検討項目となる。平成 27 年 6 月に検討を開始し、他市議会の事例を参考に「浜田市議会自由討議要領」（案）の作成検討に入る。この時の会議体の対象は、委員会、調査会、全員協議会。同年 9 月に同要領（案）が決定された。その後、平成 30 年 2 月、議会改選後、同要領（案）修正版が議長に提出している。</p> <p>○現状等</p> <p>・令和元年においても、他市事例の視察等を行っており同事項について検討中。（対象会議体からの調査会の削除等）</p> <p>・やりながら、走りながら考え取り組んでいくとのこと。</p> <p>2 議会報告会（市議会報告会、地域井戸端会議）の実施について</p> <p>○実施状況等</p> <p>平成 24 年度～平成 26 年度 議会報告会（3 月定例会報告・意見交換）</p> <p>平成 27 年度以降 5 月に議会報告会（3 月定例会報告・意見交換）</p> <p>10 月に地域井戸端会議（分野ごとにテーブル設定 ①健康・福祉・教育 ②産業 ③安心・安全 ④地域についての意見交換）</p>	

○議員の役割 司会者、ファシリテーター、報告書作成者。

○参加者 選定は特にしていない。

班長が中心となって企画・運営を考える。また、多くの方に参加していただくよう動員の活動も行った経過もある。参加数は、中山間地域は多いが、市街地は少ない傾向がある。

3 その他の取組等

タブレットの導入、所信表明会（議長、副議長）、政策討論会

平成30年8月に、タブレット端末を議員全員に配布。ペーパーレス会議システムを導入。議会棟フロアにWi-Fi設置。

予算書、予算説明書、決算書、事業報告書などの主要資料（書類）などは、紙ベース（で欲しいといったことがある）。

平成19年6月、所信表明会導入。議場で行うが形式は全員協議会として行う。

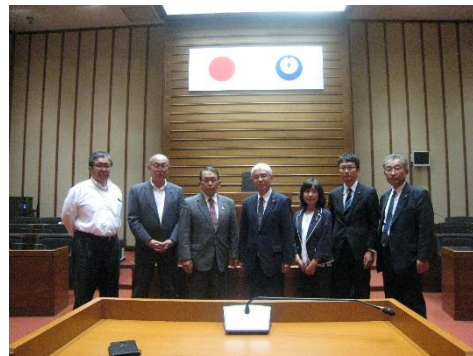
政策討論については、3常任委員会（総務文教、福祉環境、産業建設）から議題（各1つ）を提案。政策提言として1つにして議長から当局（市長等）に提出。当局の施策の反映につながるよう、10月中に提言。

令和元年議題 高齢者の移動手手段の確保（総務文教）

認知症予防の強化と早期発見（福祉環境）

おさかなセンターを中心としたエリアの活性化について（産業建設）

議長なんでもメール：平成18年10月。予算決算委員会、議会広報公聴委員会の常任委員会化：平成25年11月 等。



考 察
(まとめ)

議員間の自由討議については、その方法論も含めて具体化に至っていなかったが、検討課題として取組んでいくとしている、と受け止めた。しかし、政策討論会を本年8月に実施しているが、3常任委員会の課題について、全議員で討論をしたとの説明を受け、本市議会で行っている各常任委員会でのテーマ設定、市への政策提言とする取組みにも通ずるものと感じた。特に、市に政策提言する前段階で各常任委員会ごとに対応（報告）を行うのではなく、全体で討論することも必要なのではと考えさせられた。

※視察先の写真、資料等の添付